

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ヨンキユウ

コード番号 9955 URL <http://www.yonkyu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 笠岡 恒三

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長兼経営企画課長

(氏名) 善家 富夫

TEL 0895-24-0001

四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	8,643	31.3	384	—	430	851.0	121	194.3
24年3月期第1四半期	6,585	△7.7	8	△94.8	45	△78.8	41	△87.4

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 75百万円 (37.6%) 24年3月期第1四半期 55百万円 (△83.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	10.58	—
24年3月期第1四半期	4.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	22,793	19,317	84.8
24年3月期	23,045	19,368	84.0

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 19,317百万円 24年3月期 19,368百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	11.00	11.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,645	18.1	715	76.8	805	66.6	479	31.2	41.57
通期	40,200	12.9	1,351	71.1	1,550	54.6	920	8.9	79.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	11,556,084 株	24年3月期	11,556,084 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	32,719 株	24年3月期	32,719 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	11,523,365 株	24年3月期1Q	9,943,486 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年6月30日）におけるわが国経済は、復興需要等を背景に内需は堅調に推移し、消費マインドに持ち直しの動きが見られましたが、電力供給に対する懸念や欧州の債務問題を背景とした海外景気の下振れリスク等により、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

また、当社グループを取り巻く養殖業界におきましては、ハマチ・カンパチの在池量が多いことから魚価が低迷しており、経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループでは、引き続き、新規市場の開拓など国内市場における販売シェア向上に努め、併せて経営の合理化や経営課題等への迅速な対応及びその改善などに取り組みました。

その結果、「鮮魚の販売事業」及び「餌料・飼料の販売事業」の両事業で販売数量が増加したことにより、売上高は増収となりました。

また、利益面に関しましても、営業力の強化と業務の効率化等を進めたことで利益率が改善し、また、前年同期に比べ、販売費及び一般管理費に計上している貸倒引当金繰入額が減少（2億39百万円から88百万円に減少）したことにより、営業利益以下の各利益は大幅な増益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は86億43百万円（前年同期比31.3%増）、営業利益は3億84百万円（前年同期は営業利益8百万円）、経常利益は4億30百万円（前年同期比851.0%増）、四半期純利益は1億21百万円（前年同期比194.3%増）となりました。

なお、前第1四半期連結累計期間において、株式会社海昇を子会社化いたしましたでしたが、みなし取得日が平成23年6月30日であるため、前第1四半期連結累計期間には、株式会社海昇の業績は含まれておりません。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

セグメントの名称	平成24年3月期 第1四半期連結 累計期間売上高 (百万円)	平成25年3月期 第1四半期連結 累計期間売上高 (百万円)	対前年同期比較	
			金額差異 (百万円)	増減率 (%)
鮮魚の販売事業	5,097	6,284	1,187	23.3
餌料・飼料の販売事業	1,452	2,325	873	60.1
その他の事業	35	33	△2	△6.0
合計	6,585	8,643	2,058	31.3

(注) セグメント間の取引については、相殺消去しております。

「鮮魚の販売事業」では、前述のとおり、ハマチ、カンパチ及び加工品で販売価格が低下しましたが、販売数量の増加により、売上高は増収となりました。

また、株式会社海昇子会社化による相乗効果で利益率が改善し、更に、稚魚及び人工ふ化稚魚の販売数量が増加したことにより、セグメント利益も増益となりました。

この結果、売上高は62億84百万円（前年同期比23.3%増）、セグメント利益は1億87百万円（前年同期比88.2%増）となりました。

「餌料・飼料の販売事業」でも同様に、販売数量の増加と利益率の改善、貸倒引当金繰入額の減少により、増収増益となりました。

この結果、売上高は23億25百万円（前年同期比60.1%増）、セグメント利益は2億16百万円（前第1四半期連結累計期間はセグメント損失82百万円）となりました。

「その他の事業」では、売上高は33百万円（前年同期比6.0%減）、セグメント損失は1百万円（前第1四半期連結累計期間はセグメント損失11百万円）となりました。

その内容は、「四急運輸株式会社」の運送事業に係る業績は、売上高は33百万円（前年同期比6.0%減）、セグメント損失は1百万円（前第1四半期連結累計期間はセグメント損失1百万円）であります。

また、「日振島アクアマリン有限責任事業組合」の損益は、セグメント損失0百万円（前第1四半期連結累計期間はセグメント損失9百万円）であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は193億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億5百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が2億69百万円増加し、現金及び預金が3億97百万円減少したことによるものであります。

固定資産合計は34億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億46百万円減少いたしました。これは主に投資その他の資産のその他が2億32百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は227億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億51百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は33億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億34百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が3億55百万円減少し、流動負債のその他が4億30百万円増加したことによるものであります。

固定負債合計は1億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億35百万円減少いたしました。これは主に役員退職慰労引当金が3億31百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は34億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億1百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は193億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ50百万円減少いたしました。これは四半期純利益を1億21百万円計上いたしましたが、配当金支払1億26百万円及びその他有価証券評価差額金が46百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は84.8%（前連結会計年度末は84.1%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績は、ほぼ計画通りに推移しております。

そのため、平成24年5月11日の「平成24年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

しかし、平成24年7月12日、宇和海の広範囲で赤潮が発生し、マダイ・ハマチ・カンパチなどの養殖魚に被害が出ております。

現在、当社においても主要取引先の被害状況及び今後の業績への影響額等を調査中であり、今後「業績予想の修正等」に関する開示の必要性が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年 6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,706,963	13,309,698
受取手形及び売掛金	5,131,167	5,400,506
有価証券	100,378	100,131
商品及び製品	344,611	493,825
仕掛品	228,270	138,543
貯蔵品	10,161	8,352
短期貸付金	1,224,871	1,285,908
その他	73,429	61,090
貸倒引当金	△1,384,011	△1,467,941
流動資産合計	19,435,843	19,330,114
固定資産		
有形固定資産	1,840,114	1,852,420
無形固定資産		
のれん	398,444	375,006
その他	2,242	2,220
無形固定資産合計	400,686	377,226
投資その他の資産		
その他	1,607,822	1,375,588
貸倒引当金	△239,308	△142,091
投資その他の資産合計	1,368,514	1,233,496
固定資産合計	3,609,315	3,463,143
資産合計	23,045,159	22,793,258
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,375,617	2,448,203
未払法人税等	382,361	27,025
賞与引当金	17,109	3,884
その他	419,968	850,537
流動負債合計	3,195,056	3,329,650
固定負債		
退職給付引当金	148,107	144,467
役員退職慰労引当金	333,334	1,364
固定負債合計	481,442	145,831
負債合計	3,676,498	3,475,482

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,187,615	2,187,615
資本剰余金	3,124,276	3,124,276
利益剰余金	14,080,591	14,075,760
自己株式	△15,837	△15,837
株主資本合計	19,376,645	19,371,814
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,984	△54,038
その他の包括利益累計額合計	△7,984	△54,038
純資産合計	19,368,661	19,317,776
負債純資産合計	23,045,159	22,793,258

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	6,585,261	8,643,440
売上原価	5,768,223	7,323,594
売上総利益	817,037	1,319,845
販売費及び一般管理費	808,673	934,967
営業利益	8,364	384,878
営業外収益		
受取利息	27,154	27,750
受取配当金	2,848	3,377
投資不動産賃貸料	12,673	11,400
その他	12,864	15,081
営業外収益合計	55,540	57,610
営業外費用		
投資不動産賃貸費用	6,426	5,297
投資事業組合運用損	10,918	1,006
為替差損	1,048	4,599
その他	190	595
営業外費用合計	18,584	11,498
経常利益	45,320	430,990
特別利益		
固定資産売却益	—	499
役員退職慰労引当金戻入額	5,236	—
特別利益合計	5,236	499
特別損失		
固定資産除却損	85	2
投資有価証券評価損	—	2,236
役員退職慰労金	—	99,590
特別損失合計	85	101,829
税金等調整前四半期純利益	50,471	329,660
法人税、住民税及び事業税	9,066	25,310
法人税等調整額	—	182,423
法人税等合計	9,066	207,734
少数株主損益調整前四半期純利益	41,405	121,926
少数株主損失(△)	△26	—
四半期純利益	41,431	121,926

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	41,405	121,926
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,744	△46,054
その他の包括利益合計	13,744	△46,054
四半期包括利益	55,149	75,871
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	55,175	75,871
少数株主に係る四半期包括利益	△26	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鮮魚の販売 事業	餌料・飼料 の販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,097,418	1,452,663	6,550,082	35,179	6,585,261	—	6,585,261
セグメント間の内部 売上高又は振替高	55	57,990	58,045	50,228	108,273	△108,273	—
計	5,097,473	1,510,653	6,608,127	85,407	6,693,535	△108,273	6,585,261
セグメント利益又は 損失(△)	99,638	△82,687	16,950	△11,768	5,182	3,182	8,364

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社の事業（一般貨物運送事業及びマグロ養殖事業）であります。

2. セグメント利益の調整額3,182千円には、セグメント間取引消去における内部利益50千円及びその他の調整額3,131千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

5. 前連結会計年度の末日に比べて、当第1四半期連結会計期間の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。その概要については、株式会社海昇の全株式取得による子会社化に伴うものであり、その影響額は、鮮魚の販売事業で645,605千円、餌料・飼料の販売事業で1,060,129千円及び調整額で1,501,829千円がそれぞれ増加しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結累計期間において、株式会社海昇を子会社化いたしました。これによる報告セグメントの変更等はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結累計期間において、株式会社海昇の子会社化により発生したのれんの金額は468,757千円であります。なお、当該金額は報告セグメントに属さない全社資産（調整額）に含めております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鮮魚の販売 事業	餌料・飼料 の販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,284,687	2,325,685	8,610,372	33,067	8,643,440	—	8,643,440
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	81,557	81,560	42,124	123,684	△123,684	—
計	6,284,689	2,407,242	8,691,932	75,192	8,767,124	△123,684	8,643,440
セグメント利益又は 損失 (△)	187,540	216,285	403,825	△1,208	402,617	△17,739	384,878

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社の事業（一般貨物運送事業及びマグロ養殖事業）であります。

2. セグメント損失 (△) の調整額△17,739千円には、セグメント間取引消去における内部利益△1,932千円、のれん償却額△23,437千円及びその他の調整額7,631千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。